

タバコには4000種類以上の化学物質、200種類以上の有害物質が含まれています。喫煙者はそんな煙を毎日吸い込むのですから、直接煙にさらされる口の中に影響がでないわけがありません。とりわけ歯や歯茎への影響は大きく、タバコを吸わない人に比べ2~8倍歯周病にかかりやすく、しかも治療しても治りにくいと言われてています。

そして、見た目にも影響します。下図にあるように歯茎が黒ずみ歯にはタールが沈着して、とてもかっこ悪い口元になってしまいます。海外ではタバコのパッケージ(左:タイ、右:オーストラリア)に写真のような警告画像を印刷しているほどです。こんな口元になってしまう事を想像するだけでも恐ろしい感じがしますよね。それに表情の印象を悪くしてしまいそうです。



大阪府 HP 歯と口の健康づくり サイトから

健康できれいな歯と歯茎は健康な食生活には欠かせません、加えて気持ちの面でも明るい表情で毎日過ごすために大事です。健康なお口を維持するためにはタバコは不必要です。

産業デザイン科 奥田恭久

